



# 株主のみなさまへ

## 第112期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

### INDEX

|               |   |
|---------------|---|
| 宝グループ概要 ..... | 1 |
| 社長メッセージ ..... | 2 |
| TOPICS .....  | 3 |
| 業績ハイライト ..... | 5 |
| 会社情報 .....    | 6 |



宝ホールディングス株式会社

証券コード：2531



宝ホールディングス

グループ経営の統括

和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を提供する



宝酒造(国内事業)

売上構成比  
**35.1%**

主な  
事業内容

焼酎、清酒、ソフトアルコール飲料、本みりん、食品調味料、原料用アルコールなどの製造・販売

今後の戦略

和酒No.1メーカーの  
ポジションを活用した  
付加価値経営への変革



宝酒造インターナショナル  
グループ(海外事業)

売上構成比  
**39.2%**

主な  
事業内容

酒類・調味料などの輸出および  
海外子会社での製造販売、  
海外の日本食材卸会社における  
酒類・食品などの輸入・販売

今後の戦略

国内事業との協業と  
国内外でのグループシナジーの  
さらなる発揮



タカラバイオグループ  
(バイオ事業)

売上構成比  
**22.3%**

主な  
事業内容

試薬、機器などの製造・販売、受託、  
遺伝子医療事業

今後の戦略

試薬・機器事業と  
CDMO事業を通じた  
バイオ創薬基盤技術の開発



2023年3月期累計期間売上構成比

## 長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100<sup>th</sup>」

### ▶ Vision (ありたい姿)

## Smiles in Life

～笑顔は人生の宝～

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって、和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を安全・安心に提供する企業グループとして、世界中の暮らしを、命を、人生を、笑顔で満たすために挑戦し続けます。

### ▶ 事業戦略

#### 宝酒造

国内の和酒No.1メーカーのポジションを活用した付加価値経営への変革によって、着実に利益成長できる事業基盤を再構築し、企業イメージを向上させてグローバル和酒No.1企業<sup>(※1)</sup>としての根幹を支える。

※1:国内+海外(輸出+現地生産)で和酒No.1

#### 宝酒造インターナショナルグループ

グローバルな和酒の拡大を加速させるとともに、海外日本食材卸のネットワークの拡充を進めながら、国内外でのグループシナジーをさらに発揮し、海外における和酒・日本食材No.1企業<sup>(※2)</sup>を目指す。

※2:海外(輸出+現地生産)和酒No.1+海外日本食材卸No.1

#### タカラバイオグループ

試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティ(治療法)を創出し続ける創薬企業を目指す。

宝グループ中期経営計画2025の策定に合わせ、Visionをアップデートしました

## 社長メッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配をたまり厚くお礼申し上げます。

ここに、第112期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の宝グループ事業概況などについてご報告申し上げます。

### 当期（2023年3月期）の業績概況

当期（2023年3月期）の売上高は、宝酒造は焼酎、清酒等が減少しましたが、ソフトアルコール飲料や原料用アルコール等が増加し、増収となりました。宝酒造インターナショナルグループは、料飲店需要の好調や販売チャネルの多角化の進展で、増収となりました。タカラバイオグループは、試薬や遺伝子医療が増加し、特に抗原検査薬を含む新型コロナウイルス検査関連試薬の大幅伸長により増収となり、グループ全体の売上高は3,506億6,500万円（前期比16.5%増）となりました。

利益面では、宝酒造は原材料や燃料等のコストアップを価格改定とコストダウン等で補い増益となり、宝酒造インターナショナルグループは、売上総利益の増加により増益となりました。一方、タカラバイオグループは、原価率の上昇と研究開発費等の増加により減益となり、グループ全体の営業利益は379億4,500万円（前期比12.5%減）、経常利益は387億600万円（前期比10.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は212億600万円（前期比2.1%増）となりました。（セグメント別の売上高および営業利益につきましては、5ページをご覧ください。）

### 「宝グループ中期経営計画2025」の策定と次期（2024年3月期）の業績見通し

当社は、2026年3月期（2025年度）を最終年度とする3年間の中期経営計画「宝グループ中期経営計画2025（以下、本中計）」を策定しました。2020年に6年間の長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100<sup>th</sup>（以下、TGC100）」をスタートさせ、中期経営計画2022（2021年3月期～2023年3月期）において3カ年の取り組みを進めてきました。TGC100の総仕上げに向けて策定した本中計では「成長・強化領域への投資を加速させ、企業価値を高める3年間」を経営方針として掲げ、社会課題の解決に資するバリューチェーンを強化しながら商品・サービスを



代表取締役社長

## 木村 睦

通じた社会課題の解決と、長期的かつ持続的に成長原資を生み出す「稼ぐ力」の向上を統合した経営を推進していきます。これにより、グローバルかつサステナブルなビジネスモデルの確立と企業価値の向上を目指します。

最終年度の定量目標は、連結売上高4,200億円以上、連結営業利益380億円以上、海外売上高比率60%以上（タカラバイオグループを除く海外売上高比率60%以上）、ROE9.0%以上、ROIC7.5%以上を目指します。（宝グループ中期経営計画2025の詳細は、3ページをご覧ください。）

本中計の初年度である2024年3月期の業績予想については、売上高は3,550億円（前期比1.2%増）、営業利益は263億円（前期比30.7%減）、経常利益は268億円（前期比30.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円（前期比29.3%減）の計画です。初年度は減益となる見通しですが、本中計の推進により、2025年3月期以降、増益基調へと転換してまいります。

### Visionの実現と企業価値向上に向けて

当社グループでは、TGC100のVision（ありたい姿）を、「Smiles in Life ～笑顔は人生の宝～」とし、本中計で推進する内容と連動した表現へアップデートしました。

「Smiles in Life」を、当社グループにおける最も重要なワードとして掲げ、笑顔は人生においてかけがえのない大切なものと定義し、世界の人々に和酒・日本食を通じて豊かな食生活をお届けするとともに、人々の健康的な暮らしに貢献することで、Visionの実現と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご支援をたまりますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2023年6月



# 宝グループ中期経営計画2025を策定

宝グループは、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100<sup>th</sup>(TGC100)」における最終ステップとして、2026年3月期(2025年度)を最終年度とする3カ年の中期経営計画「宝グループ中期経営計画2025」を策定しました。TGC100の総仕上げである本中計の推進によって、TGC100に掲げるVisionの実現を目指します。

## ◆ 経営方針

### 成長・強化領域への投資を加速させ、企業価値を高める3年間

成長・強化領域への投資を加速させ、生産性の向上やイノベーションの創出を働きがいを高めることで実現し、グローバルかつサステナブルな宝独自の2つのビジネスモデルを確立・強化することで、バランスのとれた事業ポートフォリオでの持続的な成長とVisionの実現を達成する。加えて、コーポレートとしての情報発信とコミュニケーションを強化することで、企業価値を高める。

## ◆ 定量目標 (2026年3月期 宝グループ連結)

連結売上高  
**4,200**億円  
以上

連結営業利益  
**380**億円  
以上

海外売上高比率  
**60.0%**以上  
(タカラバイオG除く60.0%以上)

ROE  
**9.0%**  
以上

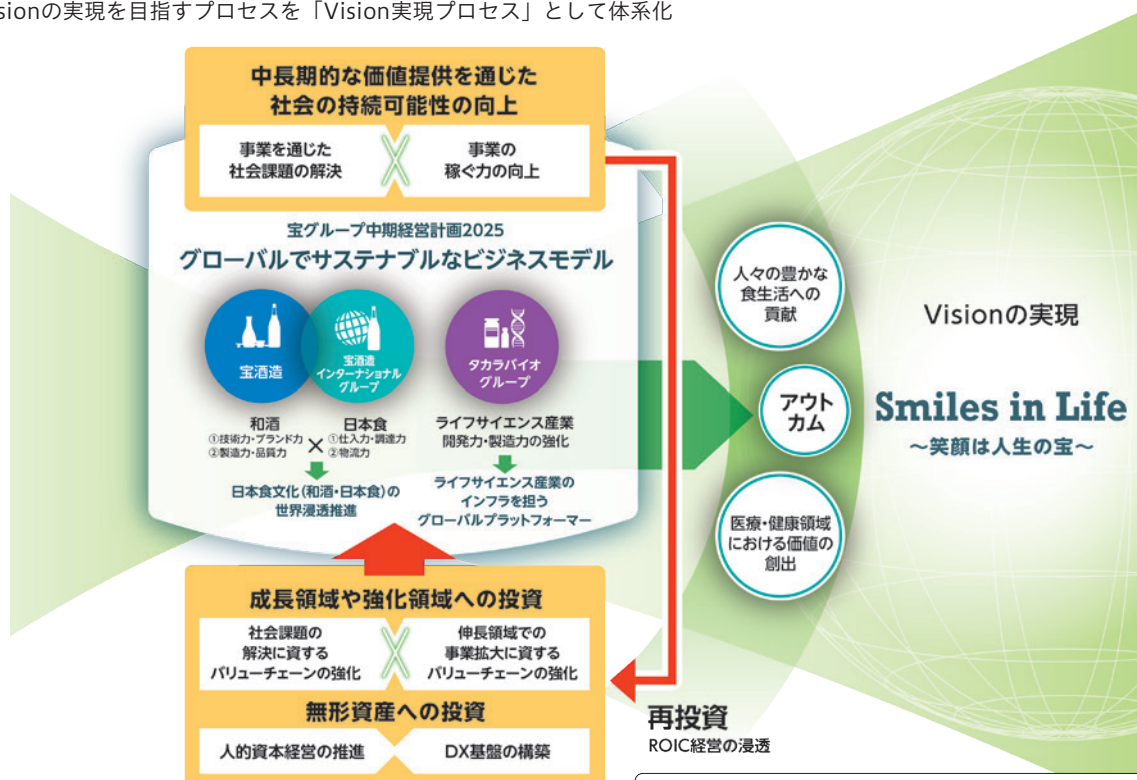
ROIC  
**7.5%**  
以上

## ◆ 5つの重点戦略

1. ROIC経営の浸透を通じた、成長・強化領域への投資
2. 中長期的な価値創造を通じた、社会の持続可能性の向上を両立する宝独自のビジネスモデルの確立・強化
3. 無形資産（人的資本・ITなど）への投資の強化（「働きがい」を高めることで、生産性の向上やイノベーションの創出を実現）
4. サステナビリティの取り組みに対するグループとしての推進力向上
5. コーポレートコミュニケーションの強化

## ◆ Vision実現プロセス

宝独自のビジネスモデルの確立と事業推進によって、事業の稼ぐ力を向上させながら、社会課題を解決することで、Visionの実現を目指すプロセスを「Vision実現プロセス」として体系化



▶ 詳細はWebサイトをご確認ください。

<https://www.takara.co.jp/company/policy/mid-term.html>





## 宝酒造

### 松竹梅白壁蔵「漣」リニューアル・「漣」<CLEAR>新発売

宝酒造は、“松竹梅白壁蔵「漣」”をリニューアルするとともに、“松竹梅白壁蔵「漣」<CLEAR>”を新発売しました。

“松竹梅白壁蔵「漣」”は、お米うまれのフルーティーでやさしい甘みが特長のスパークリング日本酒で、2011年の発売以来、多くのお客様にご好評いただいております。今回のリニューアルでは、フルーティーさに寄与する2種類の成分をアップし、香りの華やかさとふくよかさがさらに際立つ味わいに仕上げました。

また、新発売の“松竹梅白壁蔵「漣」<CLEAR>”は、りんごのようなフルーティーな香りと、さわやかで「甘さすっきり」な味わいに仕上げました。

アンバサダーとして、プロフィギュアスケーターの浅田真央さんを継続起用し、「THE JAPANESE SPARKLING SAKE」を世界共通のコピーに、日本を代表するスパークリング日本酒として、世界中に日本酒を飲むよろこび・おいしさ・感動を届けるグローバルブランドとして育成していきます。



左から、“松竹梅白壁蔵「漣」”  
“松竹梅白壁蔵「漣」<CLEAR>”

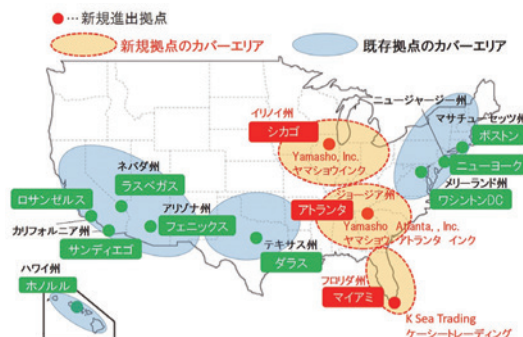


## 宝酒造インターナショナルグループ

### 米国における海外日本食材卸ネットワークの拡大・強化

宝酒造インターナショナルグループでは、米国で日本食材卸事業を行うミューチャルトレーディング社により、同じく米国で日本食材卸事業を行うヤマショウ社およびケーシートレーディング社の発行済株式を100%取得しました。ヤマショウ社は、イリノイ州シカゴ市近郊およびジョージア州アトランタ市近郊に拠点をもち、全米第3の都市であるシカゴ市を含む米国中西部および南部の市場をカバーしています。また、ケーシートレーディング社は、フロリダ州のマイアミ市近郊に拠点があり、全米有数の観光地で、市場性の高いマイアミ市近郊をカバーしています。今回の株式取得により、ミューチャルトレーディング社は米国8州9拠点から、11州12拠点となり、さらなる売上拡大を実現いたします。

宝酒造インターナショナルグループは、今後も世界での日本食材卸ネットワークの構築と和酒のさらなる販売強化による事業拡大を積極的に進め、企業価値の向上を図るとともに、和酒および日本食文化を世界に広めてまいります。



海外日本食材卸の米国拠点地図(11州12拠点)



## タカラバイオグループ

### 豚熱ウイルス野外株とワクチン株を識別する 新たな遺伝子検査法を開発、研究用試薬として新発売

タカラバイオは、豚熱ウイルス(CSFV)の野外株とワクチン株をリアルタイムPCR法で識別する新たな手法を農研機構動物衛生研究部門と共同で開発し、研究用試薬として3月22日に発売しました\*。

国内では豚熱の蔓延防止策の一つとして、野生イノシシに免疫力を与える目的で経口(餌)ワクチンの散布が進められています。しかし、従来法では、豚熱ウイルス陽性のイノシシが見つかった場合、その発症が野外株によるものかワクチン摂取によるものかの判定に1~2日程度を要していました。

今回発売した検査試薬はこれを簡便化、所要時間も2.5時間程度と大幅に短縮するもので、今後、野外株の広がりや散布した餌ワクチンの有効性の正確な把握など防疫対策に役立つと期待されます。

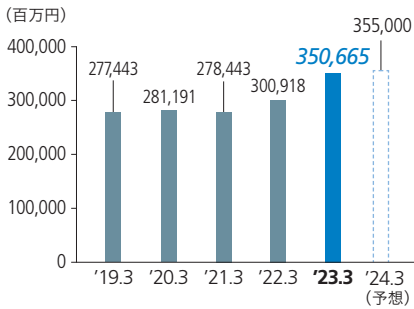
\*豚熱ウイルス遺伝子型1(Genotype 1(Gen1))に特徴的な遺伝子を検出します



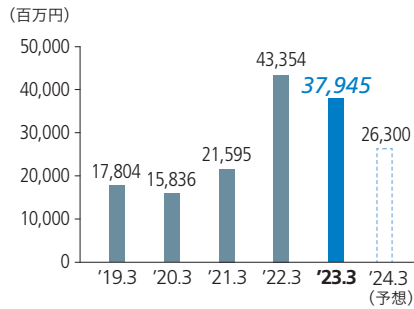
CSFV (Genotype 1)  
Direct RT-qPCR Mix &  
Primer/Probe

## 宝グループ連結

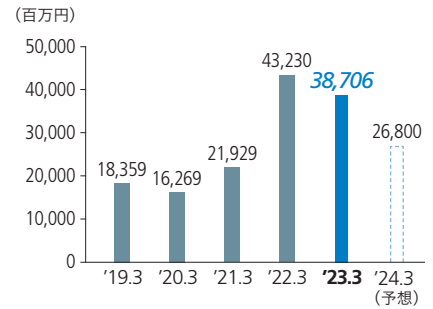
### 売上高



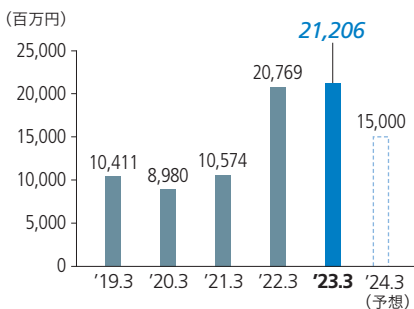
### 営業利益



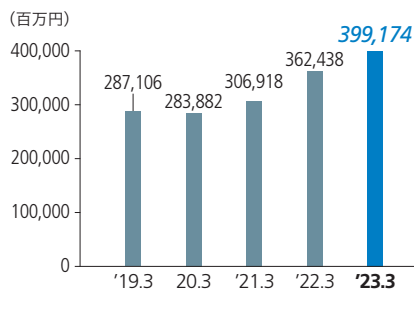
### 経常利益



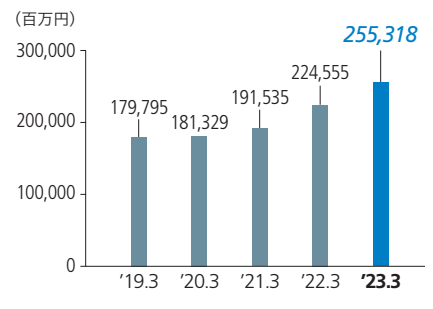
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 総資産



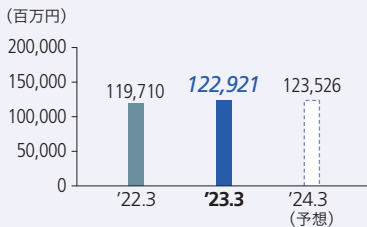
### 純資産



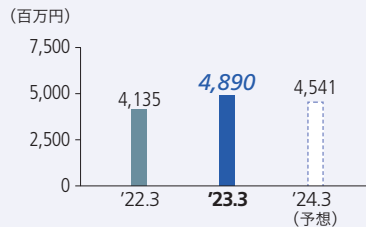
(注) 2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

## 宝酒造

### 売上高



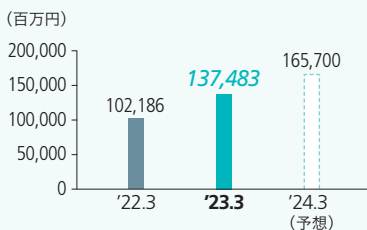
### 営業利益



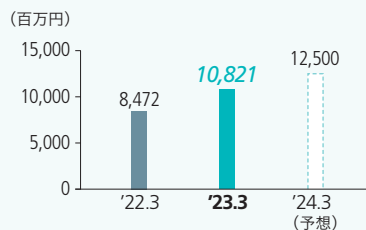
売上高は、焼酎や清酒、その他酒類が減少しましたが、“タカラ「焼酎ハイボール」”の増加等でソフトアルコール飲料の販売が増加し、需要の回復などにより原料用アルコール等の販売も増加したことで、2.7%の増収となりました。営業利益は、原材料や燃料等のコストアップや為替の影響を、価格改定とコストダウン等で補い、18.3%の増益となりました。

## 宝酒造国際グループ

### 売上高



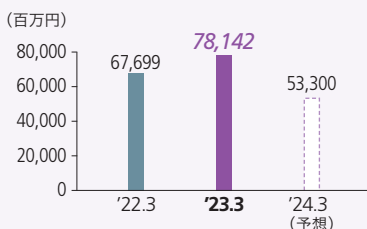
### 営業利益



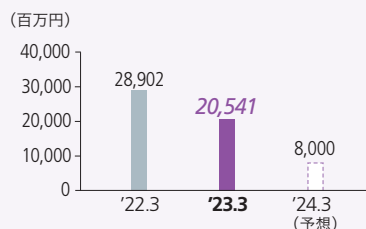
売上高は、清酒をはじめとした和酒やウイスキーなどの洋酒の販売が増加し、料飲店需要の好調と販売チャネルの多角化の進展で、海外酒類事業、海外日本食材卸事業ともに増加し、34.5%の増収となりました。営業利益は、売上の増加による売上総利益の増加で、販売費及び一般管理費の増加を補い、27.7%の増益となりました。

## タカラバイオグループ

### 売上高



### 営業利益



売上高は、機器および受託が減少したものの、試薬および遺伝子医療が増加し、特に抗原検査薬を含む新型コロナウイルス検査関連試薬が大幅に伸長し、15.4%の増収となりました。営業利益は、売上構成の変化等による原価率の上昇に加え、研究開発費等が増加し、28.9%の減益となりました。

## ■ 会社概要

|        |   |
|--------|---|
| 商号     | 宝ホールディングス株式会社<br>(英文表記: TAKARA HOLDINGS INC.) |
| 本店所在地  | 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地<br>TEL 075-241-5130     |
| 設立     | 1925年(大正14年)9月6日                              |
| 資本金    | 132億2,621万5,144円                              |
| 従業員数   | 190名(グループ連結:5,171名)                           |
| 連結対象会社 | 59社   |

## ■ 取締役および監査役 (2023年6月29日現在)

|              |       |
|--------------|-------|
| 代表取締役社長      | 木村 睦  |
| 常務取締役        | 高橋 秀夫 |
| 取締役          | 仲尾 功一 |
| 取締役          | 森 圭助  |
| 取締役(社外取締役)   | 友常 理子 |
| 取締役(社外取締役)   | 川上 智子 |
| 取締役(社外取締役)   | 本宮 孝夫 |
| 常勤監査役        | 三井 照明 |
| 常勤監査役(社外監査役) | 山中 俊人 |
| 常勤監査役        | 鈴木 洋一 |
| 常勤監査役(社外監査役) | 松永 諭  |
| 監査役(社外監査役)   | 吉本 明子 |

## ■ 株式の状況

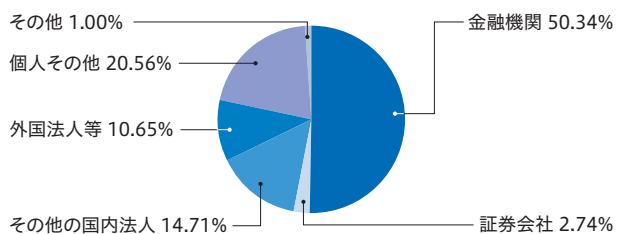
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 870,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 199,699,743株 |
| 株主数      | 83,851名      |

## ■ 大株主(上位10名)

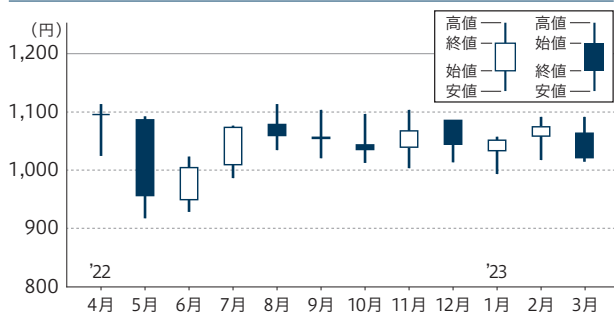
| 株主名                     | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 35,910  | 18.16   |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)      | 16,994  | 8.60    |
| 株式会社みずほ銀行               | 9,738   | 4.93    |
| 農林中央金庫                  | 9,500   | 4.81    |
| 明治安田生命保険相互会社            | 5,370   | 2.72    |
| 株式会社京都銀行                | 5,000   | 2.53    |
| 東京海上日動火災保険株式会社          | 3,878   | 1.96    |
| 国分グループ本社株式会社            | 3,489   | 1.77    |
| 宝グループ社員持株会              | 3,208   | 1.62    |
| 日本アルコール販売株式会社           | 3,000   | 1.52    |

(注)1. 持株数の千株未満は切り捨てております。  
2. 持株比率は、自己株式(1,995千株)を控除して計算しております。

## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 株価の推移



## ▶ サステナビリティ News

### 宝酒造「田んぼの学校」4年ぶりに現地開催を再開！

宝酒造が実施する環境教育イベント“宝酒造「田んぼの学校」”は、お米づくりや自然観察などの体験を通して、参加者に自然の尊さや食べ物大切さ、命のつながりや生物多様性の保全について学んでもらう活動です。2004年に千葉県で開始し、2011年からは、京都府で開催をしています。2020年から2022年までの3年間は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現地開催を中止し、“宝酒造「田んぼの学校」オンライン”として、米づくりの過程を動画配信するなどの情報発信をしてまいりましたが、今回、4年ぶりに京都府南丹市園部町の田んぼを使用しての現地開催を再開しました。

宝グループでは、10の重要課題(マテリアリティ)の「コミュニティ」における取り組みテーマの一つとして、子どもたちへの教育を掲げており、今後も“宝酒造「田んぼの学校」”をはじめとした環境教育活動を通じて、地域の発展に貢献してまいります。



※宝酒造「田んぼの学校」についてはこちら

<https://www.takarashuzo.co.jp/environment/komesake/>





# 株主メモ

|        |  |
|--------|--|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会 | 毎年6月   |
| 基準日    | ● 定時株主総会(議決権行使)、期末配当 毎年3月31日<br>● その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。 |
| 単元株式数  | 100株   |
| 上場取引所  | 東証プライム市場   |
| 証券コード  | 2531   |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 公告方法                  | 電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。(https://www.takara.co.jp)<br>ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | みずほ信託銀行株式会社   |
| 株式に関するお問合せ先           | 以下の表をご覧ください。  |

## 株式に関するお問合せ先

|                                       | 証券会社の口座で株式を管理されている場合                             | 証券会社の口座で株式を管理されていない場合(特別口座の場合)   |
|---------------------------------------|--|--|
| 住所変更、株式配当金受取方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問合せ | 口座を開設されている証券会社にお問合せください。                         | みずほ信託銀行 証券代行部<br>ウェブサイト<br>https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html |
| 未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問合せ            | 右記みずほ信託銀行にお問合せください。                              | フリーダイヤル 0120-288-324<br>(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)                           |
| 株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問合せ        | 口座を開設されている証券会社または右記みずほ信託銀行(電子提供制度専用窓口)にお問合せください。 | 〈電子提供制度専用窓口〉<br>フリーダイヤル 0120-524-324<br>(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)           |



### 特別口座で株式を保有されている方へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場での売買はできません。株式市場における株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座からの株式の振替手続が必要となります。

### 単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して、次の請求を行うことができます。

1. 単元未満株式の買取りを請求する(買取請求)
2. 単元株式(100株)にするため、不足する株数の株式の売渡しを請求する(買増請求)

#### お問合せ先

証券会社の口座で管理されている単元未満株式  
▶ 口座を開設されている証券会社  
特別口座で管理されている単元未満株式  
▶ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株主優待制度について

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式100株以上を所有されている株主様を対象とした株主優待制度を実施しています。

### ● 優待内容 (2023年3月期)

当社株式の所有数に応じて以下の優待品を贈呈いたします。

|                |          |
|----------------|----------|
| 100株以上1,000株未満 | 1,000円相当 |
| 1,000株以上       | 3,000円相当 |

左記金額相当の酒類詰め合わせ、調味料詰め合わせより1点選択(優待品に代えて社会貢献活動への寄付も選択可)



1,000株以上 3,000円相当の「〈酒類〉詰め合わせ」



1,000株以上 3,000円相当の「〈調味料〉詰め合わせ」

### ● お申込みについて

2023年6月上旬にご送付しております当社第112回定時株主総会招集ご通知に同封のお申込書に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

#### お申込み期限：

2023年7月31日(月) 消印有効

まだお申込みでない方は、お早めにお申込みください。

## ウェブサイトのご案内

宝ホールディングスのウェブサイトでは、ニュースリリースやIR情報など、最新の情報を掲載しています。また、グループ各社のウェブサイトでは、商品や事業の詳しい情報をご覧いただけるほか、オンラインショップもご利用いただけます。

[www.takara.co.jp](http://www.takara.co.jp)

(注) この報告書に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、実際の業績等は、予期しない経済状況の変化をはじめさまざまな要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

**UD FONT** 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキと、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および再生資源から作られた紙を使用して制作されています。